

各位

会社名 テクノエイト株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 貞郎
(コード番号7288)
問い合わせ先
取締役執行役員 山本 陽一郎
電話0561-48-5311

平成17年3月期 通期(連結・単独)業績予想の修正について

平成17年3月期(平成16年4月1日~平成17年3月31日)の業績について、平成17年2月10日付当社「平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(連結)」、及び参考「個別の状況」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

内容といたしましては、主に特別損失の計上に伴う業績の下方修正であり、同日付で子会社の固定資産の売却並びに厚生年金基金からの脱退についてお知らせしております。

1. 平成17年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	14,760	430	140
今回修正(B)	14,770	470	1,140
増減額(B-A)	10	40	1,000
増減率	0.1%	9.3%	

(2) 修正理由

売上高につきましては、自動車関連の受注を背景に主力のプレス部品等が好調に推移しており、電子応用機器等関連が前回予想を下回ったものの、全体では概ね前回予想並の147億70百万円(前回予想比:10百万円増)となる見込であります。

経常利益につきましては、プレス部品等の売上高が当初予想を上回る水準であり、また、労務費等の原価低減も進んでいるところから、470百万円(前回予想比:40百万円増)となる見込であります。

当期純利益につきましては、次の特別損失の発生により11億40百万円(前回予想比:

10 億円減) の大幅な損失となる見込であります。

特別損失の増加内容は、子会社の不動産売却損 4 億 12 百万円、厚生年金基金からの脱退に伴う特別掛金 3 億 53 百万円、固定資産の除却損等 4 億 9 千万円弱をあわせ、合計約 12 億 5 千万円を見込んでおります。

なお、子会社の賃貸不動産の売却、厚生年金基金脱退に伴う特別掛金の発生については、本日付で、別途お知らせしております。

また、子会社の賃貸不動産売却に伴い、連結セグメントの不動産賃貸等部門は廃止となります。

(ご参考)

廃止となる不動産賃貸部門の平成 16 年 3 月期における経営成績 (単位: 百万円)

	不動産賃貸等部門(a)	当社連結 16 年 3 月期(b)	比率(a / b)
売上高	200	17,078	1.2%
営業費用	86	15,804	0.5%
営業利益	114	1,273	9.0%

2. 平成 17 年 3 月期 単独業績予想の修正等

(1) 通期(平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	11,810	340	210
今回修正(B)	11,880	810	70
増減額(B - A)	70	470	140
増減率	0.6%	138.3%	66.7%

(2) 修正理由

売上高につきましては、自動車関連プレス部品が、引き続き順調な推移を予想しており、当初予想を若干上回る 118 億 80 百万円(前回予想比: 70 百万円増)となる見込であります。

経常利益につきましては、原価低減効果、及び子会社テクノ佐賀株式会社からの配当金 3 億 90 百万円を受け取ることとしたことから 8 億 10 百万円(前回予想比: 4 億 70 百万円増)となる見込であります。

当期純利益につきましては、上記の連結と同じく、特別損失の発生により大幅減少となり、税効果を含めた結果、70 百万円(前回予想比: 1 億 40 百万円減)となる見込であります。

増加する特別損失は、厚生年金特別掛金 3 億 53 百万円、子会社ビジネスネットワークテレコム株式会社の株式評価損約 1 億 6 千万円、及び旧式設備の除却損等 3 億円弱をあわせ、合計約 8 億円 1 千万円を見込んでおります。

3. 今後の対応について

本件の特別損失の計上により、当社グループといたしましては、財務面で将来的に懸念のある事項は一掃したものと認識しております。

今後は、主力部門であるプレス部品関係に経営資源を集中し、更なる品質の向上並びに原価低減の推進により、競争力を強化し、一層の安定収益基盤の確立に注力してまいります。

なお、期末配当金につきましては、1株当たり5円（年間では1株あたり10円）配当を変更なく継続させていただく予定であります。

以上